



光藤 佐展 李朝の余韻

2014年11月29日(土) - 12月9日(火) 会期中無休

料金後納
ゆうメール

みつふじ たすく りちよう よいん
光藤 佐展 李朝の余韻

2014年11月29日(土)～12月9日(火) 会期中無休

営業時間 11:00～18:00 作家在廊日 11月29日・30日

みつふじ たすく

光藤佐さんは1962年生まれ。兵庫県北部の山に囲まれた静かな地域で制作しています。光藤さんが作る器は、粉引・刷毛目・白磁・黒釉・鉄絵など李朝をベースとするものが多く、近年は新窯^{まきがた}の仕事で深みが増しています。しかし李朝^{りちよう}の様式を踏まえながらも外形の忠実な再現が目的ではなく、そこに宿った風情をどう咀嚼^{そしやく}して表すかが光藤さんには肝心なようです。中学生の頃には茶を学び、大学卒業後は料亭の窯場で陶工として働きながら料理を知り、独立してからは書と短歌に長く親しんでいます。そのような文化的背景があるからでしょうか。光藤さんの器には、そこはかとない気品を感じるのです。それはまるで短歌のように、李朝の様式を約束事にしながら、器の中に自然^{じよれい}の叙景や心の抒情^{じよじよう}を詠み込み、そこから醸し出される余韻^{かち}を求めているように思えます。年代的に陶芸家として円熟みを増す頃でしょう。職人仕事で鍛えた確かな技と、そこに内在する余韻の美しさを感じて頂ければと思います。庭のもみじが紅葉する頃。皆様のお越しをお待ちしております。 店主

プロフィール

- 1962年 兵庫県宝塚市生まれ
- 1978年 中学を出て京都府立陶工職業訓練校で学ぶ
- 1980年 京都の窯元で職人として働く
- 1982年 京都精華大学美術学部に入り絵を描く
- 1986年 京都の料亭のお庭窯で職人として働く
- 1989年 兵庫県にて築窯し独立する
- 2014年 現在、兵庫県朝来市にて制作する

ギャラリー うつわノート

埼玉県川越市小仙波町1-7-6

TEL 049-298-8715

MAIL utsuwanote@gmail.com



電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分

本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分

バス：川越駅東口3番乗り場

[小江戸名所めぐり]乗車～[喜多院前]下車

車：専用駐車場有(25～28番)

